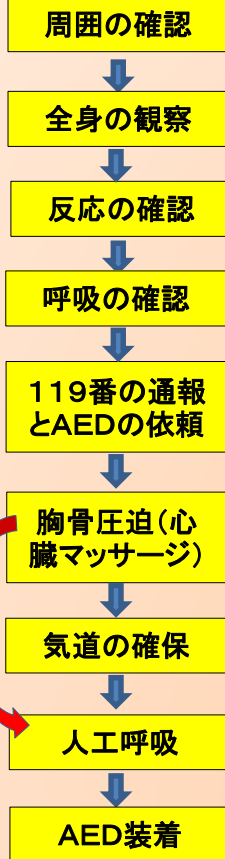


9/12 新規採用栄養教諭研修講座第6日を実施しました。

9月12日(木)に『新規採用栄養教諭研修講座』第6日を実施しました。講義・実習「救急法」では、日本赤十字社茨城県支部の磯部佐智恵指導員、菊池照代指導員から、「心肺蘇生法、AEDを用いた除細動、気道異物除去」について、実技を交えながら、丁寧に教えていただきました。講義「アレルギーへの対応」では、村立東海病院の松井猛彦医師から、「気管支喘息の治療法、運動誘発喘息発作への対応、食物アレルギーの対応」についてのお話をいただきました。研修を通して、栄養教諭としての高い専門性を学ぶことができました。

心肺蘇生法の手順

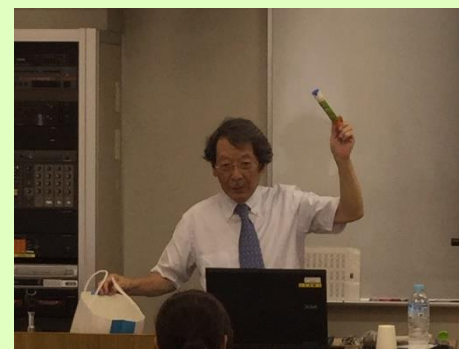


▲受講者による心肺蘇生の様子

※画像をクリックすると動画がご覧になれます。

AEDが到着するまで心臓マッサージ30回(1分間あたり100～120回のテンポ)と人工呼吸を2回(1回に1秒かけて吹き込む)を繰り返します。AED装着後、音声ガイドに従って行います。

参考資料【[日本赤十字社](#)】
[一次救命処置\(BLS\)～心肺蘇生とAED～JRC蘇生ガイドライン2015対応](#)



▲講義「アレルギーへの対応」
村立東海病院 松井 猛彦医師



▲アドレナリン注射薬を打つ受講者の様子

※画像をクリックすると動画がご覧になれます。

＜受講者の感想より＞
○今回の研修では、改めて栄養教諭は児童生徒の命を預かっている重要な立場であることを考えさせられました。

アドレナリン自己注射薬の使い方

- ① ケースから取り出す**


ケースのカバーキャップを開けエビペン®を取り出す
- ② しっかり握る**


オレンジ色のニードルカバーを下に向け、利き手で持つ
"グー"で握る!
- ③ 安全キャップを外す**


青い安全キャップを外す
- ④ 太ももに注射する**


太ももの外側に、エビペン®の先端(オレンジ色の部分)を軽くあて、「カチッ」と音がするまで強く押しあてそのまま5つ数える
注射した後すぐに抜かない!
押しつけたまま5つ数える!
- ⑤ 確認する**


エビペン®を太ももから離しオレンジ色のニードルカバーが伸びているか確認する
使用前 使用後 伸びていない場合は「④に戻る」
- ⑥ マッサージする**


打った部位を10秒間、マッサージする